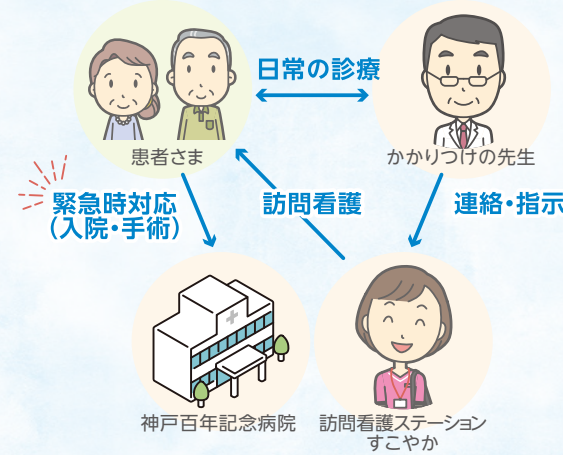


医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院 附属
**訪問看護
ステーション
すこやか**

**NEW
OPEN!**
2023年3月1日 水
START! (予定)



緊急時でも円滑な対応が可能です



訪問看護ステーションすこやか 事業所番号 2860590500
☎078-330-5091 FAX 078-681-6265

Strong point

- 01 地域の医療機関さま、神戸百年記念病院と連携し、患者さんやそのご家族をサポートする体制が整っています。
- 02 認定看護師が対応します。
- 03 夜間救急時の対応が可能です。
24時間365日電話対応しています。

Message

認定看護師による褥瘡管理や医療機器・チューブの管理、服薬指導など医療的な対応から、ターミナルケア、皮膚・排泄ケアなど日常生活の看護まで、患者さま、ご家族に寄り添った看護を提供していきます。ぜひご相談いただくと幸いです。

Area

兵庫区・長田区・須磨区・中央区

※上記エリアで限定しておりますが、診療範囲以外の地区でも訪問可能であれば診療に伺います。お気軽にご相談ください。

新入職医師の ご紹介



総合診療科、
救急総合診療科 / 救急センター

竹中 信義

Nobuyoshi Takenaka

<資格>
・日本内科学会認定内科医・日本救急医学会救急専門医

<経歴>
平成20年 大阪医科大学卒業
平成21年 松原徳洲会病院 初期研修医
平成27年 藤田保健衛生大学病院 救急科助教
平成27年 愛知医科大学病院 救命救急科助教
令和2年 神戸平成病院
令和4年 神戸百年記念病院 救急総合診療科
平成23年 藤田保健衛生大学病院 総合心療内科助教
平成24年 市立奈良病院 総合診療科医師

編集後記

本年1月より地域医療総合支援センター長を拝命いたしました総合診療科の安田です。西岡先生から引き継ぎ、この編集後記も今後、私が担当させていただきます。若輩者ですが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、年末年始は皆様方いかがお過ごしだったでしょうか。コロナ第8波の最初か、ピークかもわからないまま、増え続ける発熱患者の対応に皆様もご苦労なさったことと思います。この編集後記を執筆中も、5類への切り替えなど閣議決定され、医療機関と世の中との折り合いを付けていくことも一苦労しそうな様相です。

今回は、当院の新体制、新部門のご紹介となります。西岡先生は、院長補佐として新たな4副院長体制を統括していただく体制です。黒木副院長に加え、診療部門として鈴木副院長、教育研修部門として中島副院長、業務改革、地域連携部門として私が務めさせていただきます。また、3月より、当院附属の訪問看護ステーションも稼働を始めます。「地域になくてはならない病院」になるために、より一層精進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



副院長
総合診療科 部長

安田 考志

Takashi Yasuda



地域医療機関向け広報誌 ジェネラルリンク

GENERALINK

総合病院の総合(GENERAL)と、連携(LINK)を組み合わせた造語になります。私たち神戸百年記念病院は、「地域になくてはならない病院になる」という理念のもと、地域の医療を共に支えるために、相互連携していきたいと強い想いを込めて作成しました。

2023.02
06

特集

新体制のご紹介

副院長4名による体制強化で
病院運営を活性化し地域に貢献します



医療法人社団 顕鐘会

神戸百年記念病院

地域医療総合支援センター 〔月～金曜日 9:00～17:30 〔土曜日 9:00～17:00 〔日・祝日 休み〕

TEL.078-681-6250 FAX.078-686-1802

〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1

TEL.078-681-6111 (代表)



医療法人社団 顕鐘会

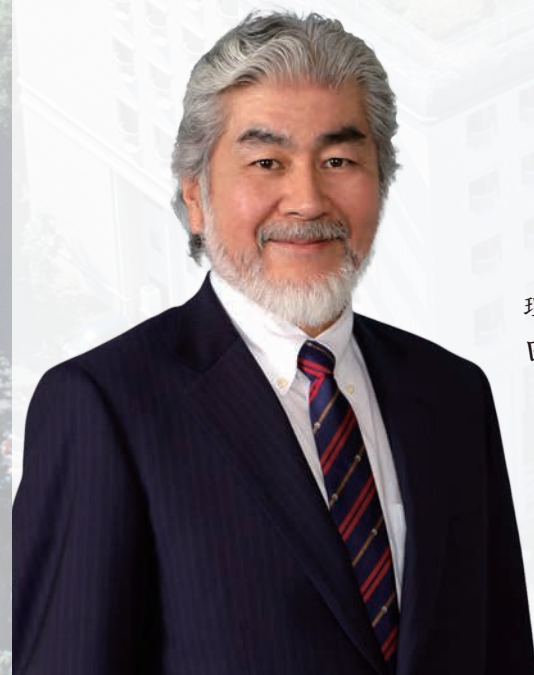
神戸百年記念病院

ごあいさつ“2023年を迎え”

旧年中は大変お世話になりました。本年も相変わらぬご支援をお願い申し上げます。

社会を覆う COVID-19 感染症は、ワクチンの普及、治療法の進歩などもあって、今後は社会活動の復興と共に文字通り with Corona の新しい局面に入っていくと思われまします。しかし医療面では、コロナはその病原性ばかりではなく、従来の医療にも甚大な影響を及ぼす脅威であり続けます。当院では本年も引き続き万全の感染症対策を講じて医療活動の安全確保に尽くしてまいり所存であります。と同時に、病院機能はその歩みを止める事なく進化を続けてまいります。「地域になくてはならない病院になる」という病院理念に賛同し、昨年は多くの医師が全国から参集してくれました。各診療科、医療センターの経験豊富な専門家が地域の先生方に、信頼され満足される医療を提供してまいります。

また、それを支える病院運営体制も本年1月より改良、強化をいたしました。4名の副院長（TQM：Total Quality Management 担当、診療担当、業務改善・医療連携担当、教育・研修担当）を配置し、役割を明確化、また協力協業することにより医療活動の高品質、高効率化を強力に推進いたします。これからも地域のみなさまのため、職員一丸となり、より一層の努力を続けてまいりますことを年頭の誓いいたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



理事長
田中 岳史

昨年も当院の医療活動にご理解、ご協力をいただき、あらためまして御礼を申し上げます。当院も含め、地域の先生方におかれましても、前年から続く COVID-19 に対する感染対策を講じながらの医療提供が求められ、厳しい一年となりました。その中でも、地域での二次救急指定病院としての役割を果たすために、発熱有症状の患者さまの診療を継続しながら、二次救急指定病院の使命でもある救急医療の体制も質を落とすことなく継続してまいりました。

また、この医療機関向け広報誌「GENERALINK」を創刊。またオンライン開催の地域医療連携会「GENERALINK Web」の開催もスタートするなど、直接お会いする交流が難しい中でも、地域の先生たちとの情報交換、共有ができる企画も実施しました。本年も地域の皆さまが安心して暮らせる街づくりをしていくうえで欠かせない医療連携のカタチを模索してまいります。まずは、当院の機能や、設備を知っていただけるように、そして地域の先生方に便利に使っていただけるように体制構築、情報発信をしてまいります。

さらに本年3月1日からは、『訪問看護ステーションすこやか』が開設します。コロナ禍でさらに在宅医療の必要性は高まっていると感じます。ご家族の元で、安心して暮らせるようにサポートを提供していきたいと思ひます。

本年も「地域になくてはならない病院になる」という理念のもと、地域の医療を共に支えるため、地域の先生方からのご指導、ご意見もいただきながら、より強固な連携体制を築いていけるよう努力してまいります。本年も、何卒よろしくお願い申し上げます。



院長
朝田 尚宏

TQM部門

(Total Quality Management)

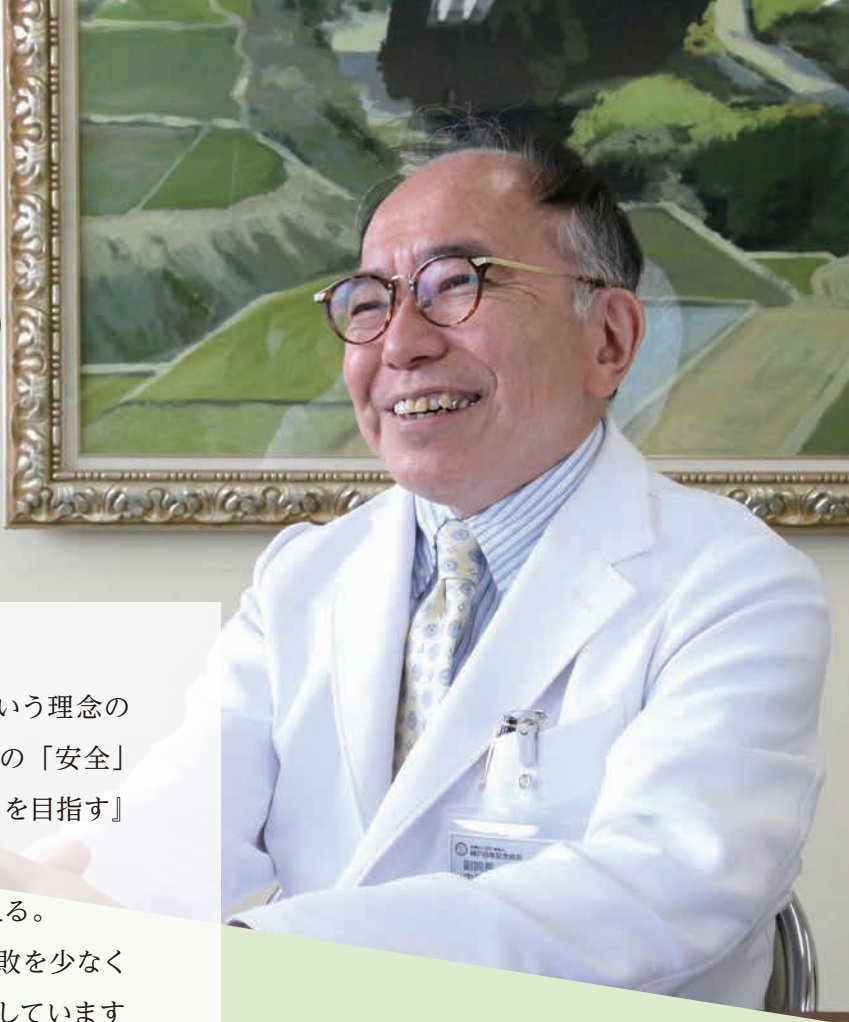
副院長、内科部長

黒木 康雄
Yasuo Kuroki

『地域になくてはならない病院になる』という理念の下、当院では行動指針の最初に、『患者さまの「安全」を第一に考え、「信頼され・満足される病院」を目指す』を掲げています。

To error is human 人は誰でも間違える。
安全とは失敗や事故がないことであり、失敗を少なくするために日々インシデントレポートを分析していますが、ヒューマンエラーはなかなか減りません。令和4年4月より医療安全管理室は TQM(Total Quality Management) 部に組織変更され、医療事故防止の観点でなく医療の質向上により安全を確保する取り組みを目指しています。失敗をなくすことを目的とする従来型の安全マネジメント「Safety-I」に対して、うまく行われていることから学び、レジリエンスを向上させていく「Safety-II」と呼ばれるアプローチが提唱されており、サッカーワールドカップに例えるなら、PK 戦の反省は Safety-I、華麗に攻め込んで得点したゴールに学ぶのが Safety-II です。

医療の質とは診療の質だけでなく、設備、環境整備、接遇といった病院が提供するサービスすべての質が対象となります。したがって職員皆がレジリエンスを高めて、チームワークで課題解決に取り組む風土を目指したいと思います。地域住民の方々や先生方からご紹介いただいた患者さまを Patient（我慢する人）でなく病院の Customer（顧客）と考えて、安全で上質なサービスの提供に励んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



黒木 康雄
Yasuo Kuroki

糖尿病・リウマチ内科

【専門・得意分野】

リウマチ・膠原病

糖尿病・内分泌

骨粗鬆症

【資格・免許】

神戸大学臨床准教授

日本内科学会認定内科専門医

日本内科学会認定指導医

日本リウマチ学会専門医

日本リウマチ学会評議員

アメリカリウマチ学会会員

日本糖尿病学会専門医・研修指導医

【略歴】

昭和 60 年 神戸大学医学部卒業

平成 4 年 神戸大学医学部大学院卒業

神戸百年記念病院勤務

診療部門

副院長
循環器病センター センター長

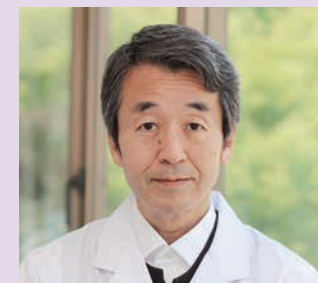
鈴木 秀治
Shuji Suzuki

いつも当院に患者さまをご紹介いただきありがとうございます。本年より診療部門 副院長をさせていただきます。

医療従事者のみなさまにおかれましては、この長いコロナ禍の中、大変なご苦勞をされていることと存じます。当院では新たな設備として昨年コロナ専用病床を新設し、限られた病床数ではありますがコロナ陽性患者さまの受け入れが可能となっています。また救急総合診療科が新設され、今まで以上に幅広く、スムーズな救急患者さまの受け入れ体制を進めています。

昨年当院では消化器内科、循環器内科、腎臓内科が誕生しました。さまざまな患者さまのニーズにお応えするべく、先進医療の分野を充実させています。心臓カテーテル治療、消化管内視鏡治療の件数も増加しています。また念願の HCU が開設され、より重症の患者さまへの手厚い対応ができるようになりました。透析室も稼働を開始し、腎機能低下症例への対応も可能となりました。

今後も当院は地域の患者さまに対してより良い医療を提供するため、先進医療の分野を充実し、ご要望にお応えするべく進歩し続けます。地域の医療機関のみなさまとの連携をよりいっそう強め、貢献していきたいと考えています。患者さまのため、地域のみなさまのためになることを今後も積極的に進めてまいります。職員一丸となって取り組んでまいります。新しい体制の神戸百年記念病院に是非ご期待ください。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



鈴木 秀治
Shuji Suzuki

循環器内科・循環器病センター

【専門・得意分野】

内科、循環器内科

【資格・免許】

日本内科学会認定内科医

日本循環器学会認定循環器専門医

臨床研修指導医

博士（医学）

【略歴】

平成 1 年 大阪医科大学医学部卒業

平成 2 年 大阪医科大学附属病院

平成 11 年 大阪医科大学助手

平成 23 年 大阪医科大学講師

平成 27 年 大阪医科大学

三島南病院副院長

令和 3 年 神戸百年記念病院 内科

教育研修部門

副院長

中島 幸一
Koichi Nakajima

近隣医療機関の先生方には平素より患者さまのご紹介や情報提供につきまして、格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、令和5年1月より副院長を拝命しました外科の中島幸一と申します。私は平成2年に兵庫医科大学を卒業し、兵庫県立淡路病院で初期研修を行い、その後は兵庫県の養成医として温泉町、浜坂町、千種町などの診療所や病院へ13年間の派遣を経験しました。前任の公立穴栗総合病院では17年間外科医としての修練を積み、神戸百年記念病院へは令和4年2月に着任しました。ご覧の経歴通り、一貫して地域医療の現場を渡り歩いております。

着任以来、外科チームの一員として外来、手術、病棟業務を担当しておりますが、胃癌、大腸癌、胆道疾患、ヘルニアなどの疾患においては、より低侵襲な腹腔鏡手術を積極的に適応することで早期退院、早期社会復帰を実現できるように精進しております。

これまでは専ら外科医として臨床や研究などに従事してきましたが、今後は病院全体の役割についても視野に入れて努めさせていただきます。このたびの副院長就任に際しては、田中岳史理事長より職員教育、研修担当の業務を仰せつかりました。職員に知識や技術習得の機会をより多く提供できるような体制を作り、企画を行ってまいります。その結果、職員の臨床能力が向上し、病院のさらなる発展につながるよう尽力したいと心より願っております。

ご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



中島 幸一
Koichi Nakajima

外科、ヘルニア外来

【専門・得意分野】

消化器外科、ヘルニア

【資格・免許】

日本外科学会専門医・指導医

日本消化器外科学会専門医・指導医

消化器がん外科治療認定医

日本腹部救急医学会認定医

難病指定医

マンモグラフィ読影認定医

インфекションコントロールドクター

日本スポーツ協会公認スポーツドクター

【略歴】

平成2年 兵庫医科大学卒業

平成2年 兵庫県立淡路病院 研修医

平成4年 温泉町国民健康保険診療所 所長

平成7年 兵庫県立淡路病院 外科医長

平成9年 公立浜坂病院 内科医長

平成10年 千種町国民健康保険診療所

平成11年 千種町国民健康保険診療所 所長

平成17年 公立穴栗総合病院 外科医長

平成20年 公立穴栗総合病院 外科部長

令和4年 神戸百年記念病院 外科

業務改革・地域連携部門

副院長
総合診療科 部長

安田 考志
Takashi Yasuda

令和5年1月より、副院長兼地域医療総合支援センター長を拝命いたしました安田考志です。

私は令和4年4月より、救急総合診療科部長、腎臓内科・透析科部長、足病診療科部長として赴任させていただき、地域のみなさまに大変お世話になってきました。

私としましては、引き続き「地域になくてはならない病院になる」という病院理念に基づき、地域医療構想、地域包括ケアシステムの構築、そのための医療機関の機能分化、強化と連携をより一層大事にしていきたいと思えます。新型コロナウイルス感染症が蔓延し、はや3年の年月が経ちワクチン接種や治療法も徐々に浸透し始めましたが、医療機関においては、まだまだ「ゼロコロナ」が必要な状況は変わらず、病病連携、病診連携においても「顔の見える関係」から「その先へ」、変化が要求されているように感じます。地域の先生方、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護従事者、行政、地域住民のみなさまとともにポストコロナ時代の医療連携を構築したいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

安田 考志
Takashi Yasuda

救急センター、総合診療科

【専門・得意分野】

内科全般、泌尿器科一般手技、腎生検、シャント造設、腹膜透析カテーテル留置、アフレスス全般、集中治療における急性血液浄化、人工呼吸管理、フットケア・フットウェアおよび足病関連外来

【資格・免許】

医学博士

日本泌尿器科学会専門医・指導医

日本腎臓学会専門医・指導医

日本透析医学会専門医・指導医

日本アフレスス学会認定血漿交換療法専門医

日本病院総合診療医学会認定医

日本集中治療医学会 ICD

【略歴】

平成12年 高知大学医学部医学科卒業

平成12年 京都府立医科大学附属病院泌尿器科研修医

平成13年 社会医療法人同心会古賀総合病院

泌尿器科研修医

平成14年 第二岡本総合病院泌尿器科

平成15年 パナソニック健康保険組合松下記念病院

腎不全科

平成21年 京都府立医科大学大学院泌尿器外科学 専攻修了

平成21年 社会福祉法人京都社会事業財団西陣病院

泌尿器科

平成21年 パナソニック健康保険組合松下記念病院

腎不全科主任

平成27年 パナソニック健康保険組合松下記念病院

腎不全科副部長

平成29年 パナソニック健康保険組合松下記念病院

腎不全科部長

平成30年 パナソニック健康保険組合松下記念病院

足病診療科 部長兼任

令和4年 神戸百年記念病院 救急総合診療科 部長